

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和4年第50週の発生動向

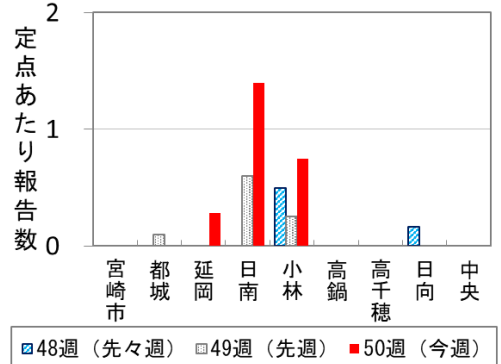
トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が9,962例あり、先週(6,917例)の約1.4倍であった。2022年の累積報告数は228,716例となった。※詳細は宮崎県新型コロナウイルス感染症特設サイトを御覧ください。

・インフルエンザ(定点把握対象の疾患)

日南保健所管内の定点当たりの報告数(1.4)が、流行期の目安となる1を上回った。保健所別で1を上回るのは、2019/2020シーズン以来である。なお、宮崎県全体では0.21(前週0.09)となっているが、今後の動向に注意が必要である。

インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



全数報告の感染症(50週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：報告なし。
- 4類感染症：つつが虫病1例。5類感染症：梅毒5例、百日咳1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	日南	80歳代	男	疑似症患者	なし
		小林	80歳代	女	肺結核及び粟粒結核、結核性脊椎炎	痰、発熱、腰痛
4類	つつが虫病	宮崎市	70歳代	女	—	発熱
5類	梅毒	宮崎市	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	鼠径部リンパ節腫脹
			30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	鼠径部リンパ節腫脹
		都城	40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	丘疹性梅毒疹
		延岡	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、鼠径部リンパ節腫脹
		小林	50歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、鼠径部リンパ節腫脹
	百日咳	都城	10歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は308人(定点当たり9.1)で、前週比109%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患はRSウイルス感染症とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【感染性胃腸炎】

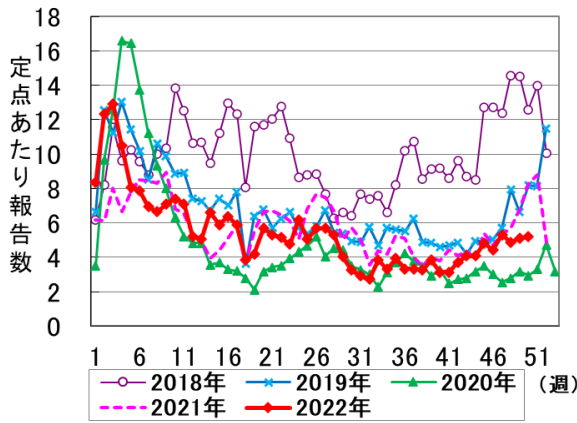
報告数は187人(5.2)で、前週比102%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(8.6)の約0.6倍であった。中央(11.0)、日南、小林(6.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約半数を占めた。

【手足口病】

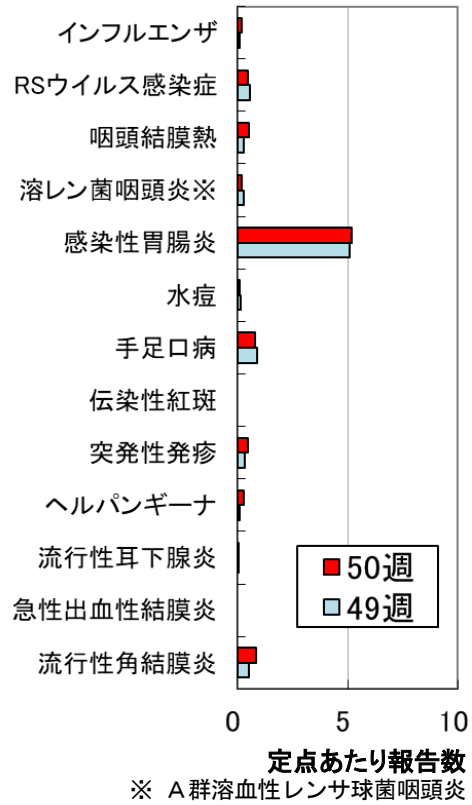
報告数は29人(0.81)で、前週比91%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.2)の約0.7倍であった。延岡(3.3)、日向(3.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から2歳が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

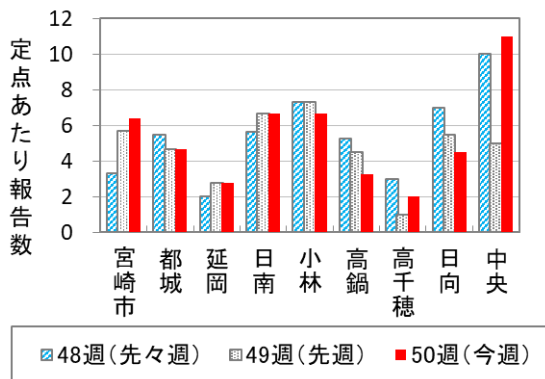
感染性胃腸炎 発生状況



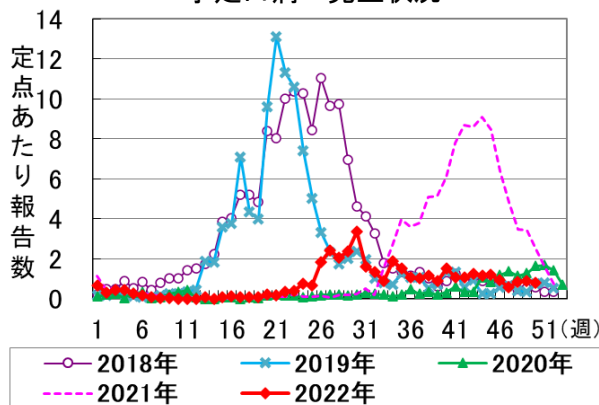
《前週との比較》



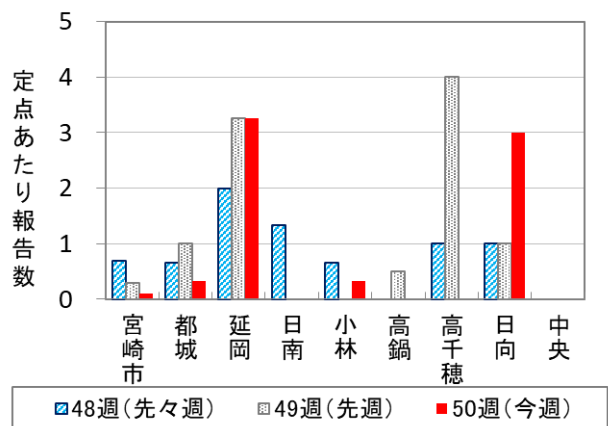
感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	水痘(1.0)

※流行注意報レベル基準値※
・水痘(1)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和4年12月19日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EHEC(O15:HUT VT1)	0～4歳	女	2022.10.12	胃腸炎(血便、粘液便)	便	2022.12.07
EHEC(O157:H7 VT2)	0～4歳	女	2022.10.26	発熱、胃腸炎(水様性下痢、血便、腹痛)	便	2022.11.07
EHEC(O18:HUT VT2)	20歳代	女	2022.11.12	無症状	便	2022.11.24
EPEC(OUT:HUT)	10歳代	女	2022.11.22	発熱(38.0℃)、胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2022.12.06

0～4歳の乳児2名及び20歳代の女性1名から腸管出血性大腸菌（EHEC）が検出された。EHECはベロ毒素を産生する大腸菌で、下痢、腹痛、血便などを引き起こし、溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症などを合併した場合には死に至ることもある。一方で、無症状や軽い下痢ですむ場合もあり症状は多様である。EHEC感染症は夏季の発生が多いが、例年、冬季にも散発的に発生する事から年間を通して注意が必要である。

★ウイルス なし

🇯🇵 全国 2022 年第 49 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	172 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	35 例				
4類感染症	E型肝炎	3 例	A型肝炎	1 例	エキノкокクス症	2 例
	オウム病	1 例	つつが虫病	53 例	デング熱	1 例
	日本紅斑熱	2 例	レジオネラ症	26 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	21 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	3 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5 例	後天性免疫不全症候群	4 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	26 例	水痘(入院例)	4 例	梅毒	141 例
	播種性クリプトкокクス症	1 例	百日咳	7 例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 111%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は特になかった。

R S ウイルス感染症の報告数は 1,707 人(0.54)で前週比 108%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.44)の約 1.2 倍であった。福井県(2.6)、福島県(2.5)、山形県(1.7)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳以下が全体の約 9 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 13,757 人(4.4)で前週比 115%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(6.3)の約 0.7 倍であった。福井県(10.4)、埼玉県(9.3)、大分県(8.1)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 4 歳が全体の約半数を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第50週(12月12日～12月18日)

疾病名		第49週	第50週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	5	12			2	7	3				
	定点当り	0.09	0.21	0.00	0.00	0.29	1.40	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	21	17	1	3	1		12				
	定点当り	0.58	0.47	0.10	0.50	0.25	0.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	10	19	6	3	2		2	2		3	1
	定点当り	0.28	0.53	0.60	0.50	0.50	0.00	0.67	0.50	0.00	0.75	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	11	7	3		2			1		1	
	定点当り	0.31	0.19	0.30	0.00	0.50	0.00	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	184	187	64	28	11	20	20	13	2	18	11
	定点当り	5.11	5.19	6.40	4.67	2.75	6.67	6.67	3.25	2.00	4.50	11.00
水痘	報告数	5	4		2				1			1
	定点当り	0.14	0.11	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	1.00
手足口病	報告数	32	29	1	2	13		1			12	
	定点当り	0.89	0.81	0.10	0.33	3.25	0.00	0.33	0.00	0.00	3.00	0.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	12	17	6	1	2	2		3		3	
	定点当り	0.33	0.47	0.60	0.17	0.50	0.67	0.00	0.75	0.00	0.75	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	4	10	5	2		1		2			
	定点当り	0.11	0.28	0.50	0.33	0.00	0.33	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	1		1							
	定点当り	0.06	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	5	4	1							
	定点当り	0.50	0.83	1.33	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～50週)

2類感染症	結核	117例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	66例		
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	10例
	日本紅斑熱	13例	レジオネラ症	4例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	6例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	3例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例
	ジアルジア症	1例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例
	水痘(入院例)	4例	梅毒	105例(5)
	破傷風	5例	百日咳	15例(1)
	新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	228716例(9962)	

()内は今週届出分、再掲